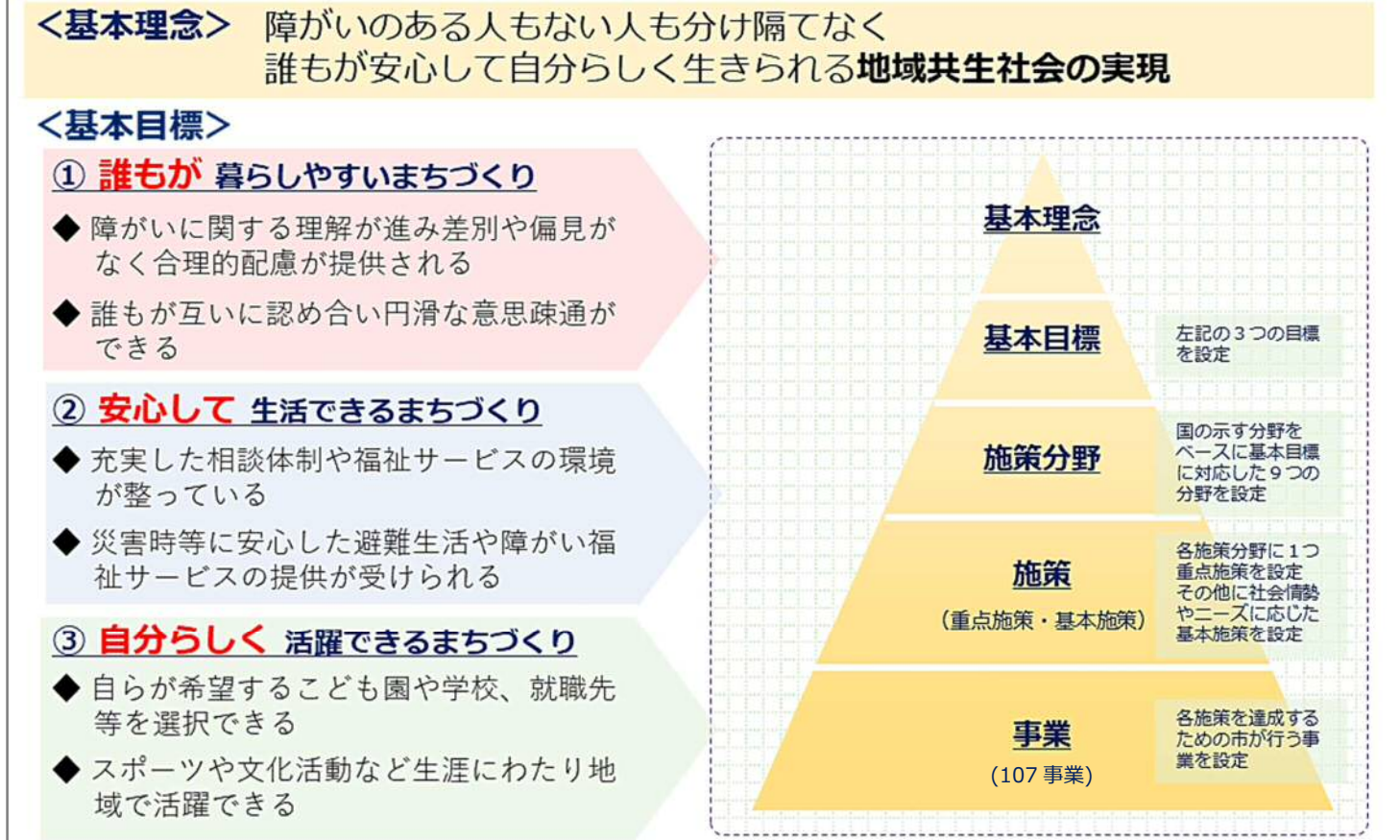


1 計画概要

(1) 基本理念と基本目標

障がいの有無や程度にかかわらず誰もが、住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備や、自らが望む生き方を選択でき、自分らしく活躍できる環境整備の推進を目的として、以下のとおり設定

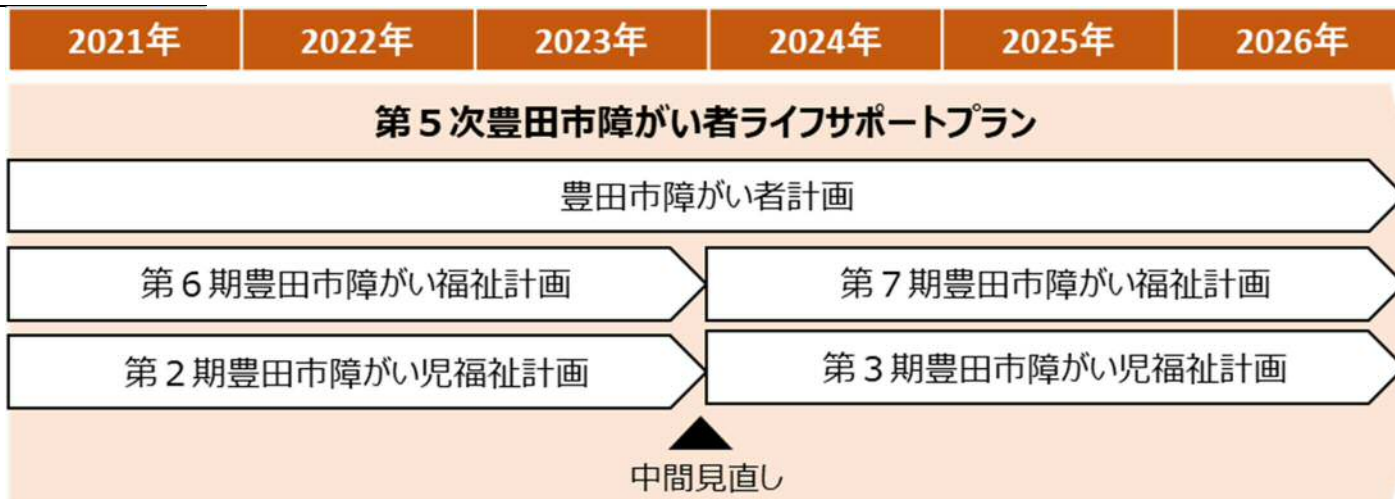


(2) 計画の位置づけ

本計画は、以下の3つの性格を併せ持つ計画として策定

- ・「障がい者計画」 根拠法：障がい者基本法第11条第3項
- ・「障がい福祉計画（第6～7期）」 根拠法：障がい者総合支援法第88条第1項
- ・「障がい児福祉計画（第2～3期）」 根拠法：児童福祉法第33条の20第1項

(3) 計画期間



2 各施策の実施状況

各施策分野における重点・基本施策の達成のために実施する全107の事業について、主な取組内容と進捗状況（○予定どおり △遅れている ×未実施）を記載

■ 施策分野1 まちと心のバリアフリー 【○10 △1 ×0 / 全11事業】

重点施策) 理解・啓発活動の推進

- ・心のバリアフリー推進講座 6回実施 (身体3、精神1、知的1、制度等1)
- ・市職員研修による行政サービスの向上
- 障がい福祉課による他課への出張手話講座



《当事者によるバリアフリー推進講座》 《手話を学ぶ職員》

【成果指標】

障がい福祉について「非常に興味がある」「ある程度興味がある」と答えた方の割合
[R1年度] 53.8% ⇒ [R3年度] R4 実態調査で算出

■ 施策分野2 権利擁護・虐待防止 【○9 △0 ×0 / 全9事業】

重点施策) 重層的支援体制の推進

- ・多機関協働事業において、ひきこもりや障がい者等の個別支援会議を開催
- ・社会福祉協議会 CSW が地域住民等と連携し、居場所や活動の場所を創出

【成果指標】

総合相談窓口への相談件数 (①実件数、②延べ件数)
[R1年度] ①516件 ②1,684件 ⇒ [R3年度] ①1,176件 ②未算出

■ 施策分野3 意思疎通支援・情報保障 【○14 △0 ×0 / 全14事業】

重点施策) 相互理解の促進・意思疎通の円滑化

- ・障がいや国籍、年齢から生じるちがいを学ぶ授業を浄水小学校で実施
- ・やさしい色づかいを学ぶ機会として、カラーユニバーサルデザイン研修を開催
- ・多様な意思疎通手段を学ぶ機会として、市民向けの手話体験会を実施
- ・意思疎通の円滑化を目的として、コンビニ版コミュニケーション支援ボードを新たに作成



《授業の様子》



《職員研修の様子》



《手話体験会の様子》

【成果指標】

意思疎通に困ることがある機会について「よくある」「時々ある」と答えた障がい者の割合
[R1年度] 34.0% ⇒ [R3年度] R4 実態調査で算出

■施策分野4 事業所整備・運営支援 【○16 △0 ×1 / 全17事業】

重点施策) 重度障がい者の受入れの促進

- ・強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)を新たに実施 受講者15名
- ・医療型短期入所等実施機関が5⇒6か所に増加



«研修の様子»

【成果指標】

強度行動障がいのある方の受入れを行う事業所数(①生活介護、②共同生活援助)

[R2年10月] ①29か所 ②7か所 ⇒ [R3年10月] ①31か所 ②10か所

医療的ケアが必要な方の受入れを行う事業所数(①生活介護、②共同生活援助)

[R2年10月] ①12か所 ②3か所 ⇒ [R3年10月] ①13か所 ②3か所

■施策分野5 保健・医療 【○10 △0 ×2 / 全12事業】

重点施策) 精神障がい者の地域包括ケアシステムの構築

- ・措置入院者の退院後の支援として、支援計画を作成し、関係機関と連携した支援を実施
- ・地域生活支援センターが1⇒2か所に増加

【成果指標】

1年以上の医療保護入院者数

[R1年度] 140人 ⇒ [R3年度] 173人

■施策分野6 防災・防犯 【○7 △0 ×0 / 全7事業】

重点施策) 自然災害及び感染症対策の推進

- ・自立支援協議会と共働し、サービス等利用計画を活用した災害時支援様式を新たに整理
- ・BCP策定率の向上を目指し、障がい福祉サービス等事業所向けにセミナーを開催

【成果指標】

災害時のBCPを策定している障がい福祉サービス事業所の割合

[R1年] 10.4% ⇒ [R3年] R4実態調査で算出

風水害時のBCPを策定している障がい福祉サービス事業所の割合

[R1年] 7.5% ⇒ [R3年] R4実態調査で算出

■施策分野7 教育・保健・子育て 【○23 △1 ×0 / 全24事業】

※△の事業は学級運営補助指導員の配置(No82)

⇒需要が年々増加し、需要に応じた十分な配置ができていない

重点施策) 地域のこども園での受入体制の充実

- ・喀痰吸引等研修を受講し、一部医療的ケアを行うことができる保育士を育成(受講者6名)
- ・地域のこども園等を訪問し、障がい児に対して集団生活に適応するための支援を実施

【成果指標】

医ケア児等をニーズに応じて受け入れた地域のこども園の数

[R3年度] ニーズに応じた受入れができている(3か所)

※数の増減ではなく、ニーズに応じた受入れができているかを評価



«地域のこども園に通う様子»

■施策分野8 就労・雇用 【○7 △0 ×0 / 全7事業】

重点施策) 障がい者の一般就労の促進

- ・就労支援員による職場開拓を82社355件(新規13社)実施し、障がい者雇用を啓発
- ・就労意欲の向上を図るため、公共施設等において職場体験を実施(8か所)

【成果指標】

障がい福祉サービス等を通じて一般就労した障がい者の数

[R1年度] 64人 ⇒ [R3年度] 96人

■施策分野9 生涯活躍 【○5 △0 ×1 / 全6事業】

重点施策) 障がい者の文化・スポーツ活動の推進

- ・障がい者のニーズに応じた教養教室・スポーツ教室の開催
- ・障がい者の社会参加・障がい理解の促進を図るための障がい者作品展を開催



«作品展の作品»

【成果指標】

文化・芸術活動を行う障がい者の割合

[H29年11月] 29.3%(文化庁調査の全国値) ⇒ [R3年] R4実態調査で算出

スポーツ・レクリエーション活動を行う障がい者の割合

[H30年3月] 43.7%(スポーツ庁調査の全国値) ⇒ [R3年] R4実態調査で算出

3 今年度の主な取組などについて

■施策分野3 意思疎通支援・情報保障

拡充★WE LOVE とよた教育プログラムの事業連携(上鷹見小学校)

- ・障がい者、高齢者、外国人等意思疎通に配慮が必要な人への理解、その人に適する意思疎通手段を学習する取組を実施(3年生10名 年間計70時間)

拡充★高校生による自主提案の実現のための支援(豊田高等学校)

- ・令和3年度に実施した総合的な探求の時間の中で、高校生が提案した企画「手話を学ぶ・広める」を実現させるため、市と協力し、取組を実施予定(2年生 提案を行った有志15名)

新規★音訳ボランティア養成講座の開催

- ・7/27~11/16にかけて、音訳技術を学ぶ全10回の講座を新規で開催予定
- ⇒音訳ボランティアの恒常的な養成を行い、視覚障がい者等の情報取得環境を確保

■施策分野4 事業所整備・運営支援

拡充★強度行動障がい者の受入れの促進

- ・豊田市にて、新規で強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)の実施を予定 定員15名
- ・強度行動障がい専門支援員派遣事業として、訪問型研修及び訪問型個別支援の実施を予定

■施策分野6 防災・防犯

継続★新型コロナウイルス感染症対策

- ・障がい者施設等職員に対する定期的なスクリーニング検査の実施
- ・感染症等が発生した障がい福祉サービス等事業所に対するサービス継続支援補助
- ・障がい福祉サービス等事業所を対象とした感染対策研修会の開催